

月刊『血液内科』投稿規定

血液内科領域に関する論文を募集します。投稿に際しては、下記の投稿規定に従ってご執筆ください。

《原著・投稿規定》

- 1) オリジナルの研究および症例報告を主とし、他誌に掲載されていないものとする。
- 2) 執筆要項は下記の通りとする。
研究 本文・文献は8,000字以内 写真・図・表は8個以内(組み上がり6頁まで無料)。
症例 本文・文献は6,000字以内 写真・図・表は6個以内(組み上がり5頁まで無料)。
なお、薬剤に関する Pharmacology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics, または前臨床試験および Phase I, Phase II, Phase III, Phase IV の臨床試験成績をまとめた論文は薬理扱いとし、全頁有料とする。
- 3) 原稿はパソコンまたはワープロで横書きとし、専門用語以外は当用漢字、現代仮名遣いを用い、句読点は正確に書くこと。また、印刷原稿とともに、使用機種およびアプリケーション名、ファイル名を明記した本文テキスト・写真・図・表の電子ファイルを同封すること。
- 4) 表題、著者名、所属は本誌の体裁にならって和英併記、また、必ずパソコンまたはワープロで400～600語の英文抄録を添付し、5項目以内の Key Words を英語で指定すること。
- 5) 外国語の固有名詞(人名、地名)は原語のまま用いる。ただし、日本語化しているものはなるべくカタカナとする。商標薬品名、その他の固有名詞の頭文字は大文字とするが、文中の外国語単語(病名、その他)の頭文字はドイツ語名詞を除きすべて小文字とする。
- 6) 数字は算用数字を用い、度量衡単位はCGS単位で、m, cm, mm, cm², L, dL, mL, kg, g, mg などとする。
- 7) 写真・図・表には必ず表題(必要に応じて説明)をつける。また、組織標本には染色法と倍率をつける。写真は手札型(縦10.8 cm×横8.25 cm)以上の大きさと鮮明であること。なお、原寸大の製版を必要とする場合はその旨を明記のこと(21 cm×14 cmを限度とする)。図版は原則として白黒とする。カラーでの掲載を希望する場合は有料(1頁2万円)とし、トレースを要する図はトレース料(1点5千～1万円)を申し受ける。他誌より写真・図版を転載する場合は権利者の許諾を得た上でその旨を明記する。
- 8) 文献は本文に用いられているもののみをあげ、引用番号は本文の引用順とし、本文中の引用箇所には必ず肩番号を付すこと。Submitted/in preparation など、掲載が確定していない論文の引用は原則不可とする。また、文献の書き方は下記のように統一し、原則として表記法はバンクーバースタイルに準じ、欧文雑誌の略名は Index Medicus に従うこと。
<雑誌>著者氏名. 題名一副題一. 誌名 西暦発行年; 巻数: 起始頁。
<書籍>著者氏名. 書名. 版数. 発行地: 発行所名; 西暦発行年. 引用頁. 編集書籍は、邦文の場合は例8)、欧文の場合は例10)に従うこと。引用文献の著者氏名、編者氏名は、4名以内の場合は全員を書き、5名以上の場合は3名連記の上、ほか、あるいは et al. とする。文献の表題は副題を含めてフルタイトルを記載し、学会発表の抄録を引用する場合は表題の最後に[会]、欧文発表の場合は[abstract]を付すこと。その他、以下の例に従って誤りのないよう記載すること。文献規定が守られていなかったり引用の誤りがある場合は、採用されないことがあるので十分注意すること。

例〔学会抄録〕

- 1) 関根雅明, 北中 明, 丸塚浩助, ほか. 骨髄浸潤を認めた悪性リンパ腫の骨髄病理像の検討[会]. 臨床血液 2012; 53: 1225. 抄録番号 PS-1-138.
- 2) Allen SL, Kolitz JE, Lundberg AS, et al. Clinical and cytogenetic responses to amonafide in secondary acute myeloid leukemia [abstract]. J Clin Oncol 2006; 24 (18 Suppl): 357s. Abstract No. 6584.

〔雑誌〕

- 3) 中尾眞二. 骨髄不全の診断と分類. 血液内科 2011; 63: 151.
- 4) Sher CJ. Colony-stimulating factor-1 receptor. Blood 1990; 75: 1.
- 5) Boggs DR, Wintrobe MM, Cartwright GE. The acute leukemias: analysis of 322 cases and review of the literature. Medicine (Baltimore) 1962; 41: 163.
- 6) Strober S, Hertel-Wulff B, Schwadron RB. Role of natural suppressor cells in bone marrow transplantation. Transplant Proc 1987; 19 (6 Suppl 7): 88.

〔書籍〕

- 7) 古川哲雄. ヤマスの顔 第6集. 東京: 科学評論社; 2009. p. 1.
- 8) 神前五郎, 今岡眞義, 井下勝男, 大熊 宏. 巨核球分化と血小板産生. 山中 学・編. 血小板—基礎

と臨床一. 東京：科学評論社；1979. pp. 79-93.

9) Wintrobe MM, Lee GR, Boggs DR, et al. Clinical Hematology. 8th ed. Philadelphia : Lea and Febiger ; 1981. pp. 82-3.

10) Barcos MP, Lukes RJ. Malignant lymphoma of convoluted lymphocytes. A new entity of possible T-cell type. In : Sinks LF, Godden JO, editors. Conflicts in Childhood Cancer. An Evaluation of Current Management. Vol. 4. New York : Alan R. Liss ; 1975. pp. 147-78.

9) 論文の執筆にあたっては、以下の各項目について倫理的側面および正確性に十分配慮すること。

- ・ **研究倫理**：人を対象とする臨床研究および症例報告における患者からの同意取得ならびに倫理審査については、要否を含め、著者の所属機関の倫理規程に従うものとする。
- ・ **個人情報の保護**：投稿論文における倫理的配慮として、平成16年4月6日外科関連学会協議会公表の「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」を遵守すること (<https://www.kahyo.com/guidelines/patient-privacy>)。
- ・ **利益相反の開示**：投稿する論文の内容に関して利益相反(COI)がある場合は、「日本医学会 COI管理ガイドライン」(<https://jams.med.or.jp/guideline/index.html>)に準拠し、論文末尾にその旨を明記すること。また、企業に所属する者が共著者に含まれる場合は、資金提供、データ解析、原稿作成支援など、当該企業の研究への関与・役割についても明記すること。
- ・ **生成AIの使用**：著者が全責任を負うことを前提に使用を認める。使用する場合は、「論文・記事作成における生成AI使用に関するお願い」を参照すること (<https://www.kahyo.com/guidelines/ai-policy>)。

10) First author には掲載誌1部を無料進呈する。別刷を希望する場合は50部単位で実費作成するので、著者校正の際に申し込むこと。

11) 刷り上がり頁が一定限度(研究6頁、症例5頁)を超える場合は超過料金(1頁1万円)を著者負担とする。

12) 欧文の原稿は受け付けない。

13) 投稿論文は、編集委員会が選定した査読者が査読(peer review)を行い、採否を決定する。

14) 掲載を急ぐ場合は特掲制度を利用すること。

15) 原稿は書留郵便で(〒101-8531 東京都千代田区神田司町2-10-15 科学評論社『血液内科』編集部)宛に送ること。査読の都合上、原稿のコピー1部を必ず同封すること(郵便事故に備えて、論文のコピーを手元にも保存されるようすすめる)。投稿は当社WEBサイトからも受け付けている(<https://www.kahyo.com/contribution>)。

《Brief Clinical Notes・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、研究および症例報告に限る。かつ、他誌に掲載されていないものとする。Originalityの高い速報もしくは予報的な報告を目的とする。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著は本誌では採択しない。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は2,800字以内、写真・図・表は2個以内(組み上がり3頁まで無料)。
- 4) 英文抄録は不要。他は同じ。

《総説・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、血液学上の問題について最近における内外の知見を総説的に記述したものとする。著者の原著報告であってはならない。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は16,000字以内、写真・図・表は8個以内(組み上がり15頁まで無料、ただし薬剤に関するものは有料)。
- 4) 英文抄録は不要。8項目以内のKey Wordsを英語で指定すること。他は同じ。

《血液薬理・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、血液疾患の治療薬や検査薬のPharmacology, Toxicology, Pharmacokinetics, Pharmacodynamics, Pharmacotherapeutics, または前臨床試験およびPhase I, Phase II, Phase III, Phase IVの臨床試験成績をまとめた論文とする。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は20,000字以内、写真・図・表は20個以内。
- 4) 英文抄録, Key Wordsは《原著・投稿規定》に従って必ず添付すること。
- 11) 本欄掲載論文に限って特別掲載扱いかつ全頁有料とする。

《記録・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、血液学に関する研究会や検討会・討議会、座談会などの内容を記述したものとする。
- 2) 執筆要項は各主催者の方針に従う。
- 4) 会名は和英併記とし、開催日時、開催場所を必ず記載する。開催後1年以上経過したものは不可。英文抄録、Key Wordsは不要。
- 11) 本欄は全頁有料とする。

《原典・古典の紹介・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、血液学上の古典・原点(疾患、徴候、症候群、検査所見、病理所見、治療法、その他)を紹介し、解説を加えたものとする。
 - 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は6,000字以内、写真・図・表は3個以内(組み上がり5頁まで無料)。写真・図・表はなるべく原点・古典そのものから複写したものをを用いること(出典を必ず明記)。
 - 4) 英文抄録、Key Wordsは不要。他は同じ。
 - 8) 文献の書き方は《原著・投稿規定》に準ずるが、雑誌の場合には、著者(全員)、題名、雑誌、西暦発行年、発行月または月日；巻(号)：起始頁-終頁のように完全なものとする。
- 例 1) West WJ. On a peculiar form of infantile convulsions. Lancet 1841 Feb 13; 1(991): 724-5.
2) 呉 秀三. トムゼン氏病ノ一種. 東京医学会雑誌 1892; 6(11): 205-14.

《人・土地・業績・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、血液学上の傑出した内外の人物の伝記やその業績、ゆかりの深い土地、研究所、病院等について読者に紹介することを目的とする。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は8,000字以内、写真・図・表は10個以内(組み上がり6頁まで無料)。
- 4) 英文抄録、Key Wordsは不要。他は同じ。

《眼で見る血液内科・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、血液学上の典型的な写真(患者の症候、画像、血液像、生化学などの検査所見、剖検所見、組織所見、その他)の提示を主な目的とし、それに簡単な解説を加えたものとする。したがって、原著研究および症例報告の形式はとらないこと。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は1,600字以内、写真(原則として白黒写真)は1～4個(組み上がり3頁まで無料)。
- 4) 英文抄録、Key Wordsは不要。他は同じ。

《数字で見る血液内科・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、血液学上の種々の統計、頻度などを数字や%によって表示することを主な目的とし、それに簡単な解説を加えたものとする。なるべく内外の統計を併記した形式が望ましい。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文・文献は3,200字以内、表は8個以内(組み上がり4頁まで無料)。
- 4) 英文抄録、Key Wordsは不要。他は同じ。

《Letters to the Editor・投稿規定》

《原著・投稿規定》に準ずるが、以下の点が異なる。

- 1) 本欄は、日常の診療・研究活動上得られたヒント、思いつき、発見、反省点、誤診しやすい盲点、薬の副作用などや、本誌に掲載された論文に対する各種意見(追加、討議、希望など)を書簡の形式(口語体)で書いたものとする。将来、文献として引用価値のあるものを採択する方針である。
- 2) 執筆要項は次の通りとする。本文は1,200字以内、写真・図・表の挿入は不可(組み上がり1頁まで無料)。
- 4) 表題、投稿者名は本欄の体裁にならって和英併記。英文抄録、Key Wordsは不要。他は同じ。